

新規実施項目のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

敬具

(記)

【項目名】： M2BPGi定量(Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体)

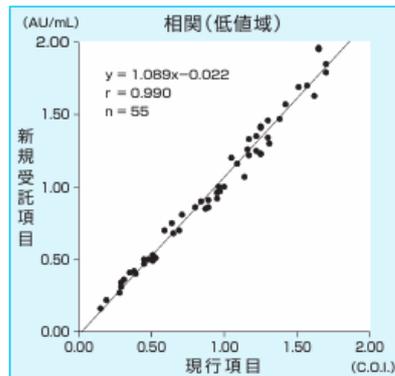
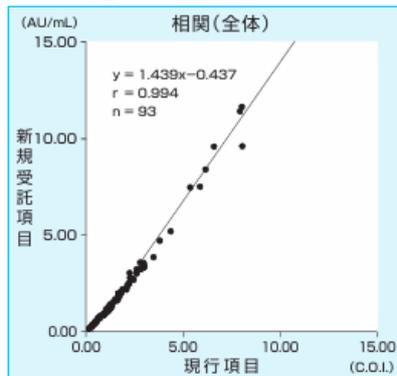
【受託開始日】： 2025年5月1日(木)受付分より

【受託要領】

項目名称	M2BPGi定量(Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体)
項目コード	5502
検査容器	1・分離剤入凝固促進スピッツ
検体量・保存	血清 0.5mL・冷蔵
測定方法	CLEIA法
基準値(単位)	0.84未満 (AU/mL)
報告範囲	0.10未満~20.00以上
報告桁数	小数第2位
所要日数	3~4日
実施料	194点
判断料	144点【生化学的検査(I)】

M2BPGi(Mac-2結合タンパク糖鎖修飾異性体:Mac-2-binding protein glycosylation isomer) は肝線維化マーカーの一種で、肝臓の線維化ステージ上昇の程度に伴い有意に高値となります。本検査は、慢性肝炎や肝硬変の診断・治療において、肝臓の線維化ステージの評価、治療方針の指標およびモニタリングに用いられます。さらに、肝細胞癌の予後予測においても有用とされています。現行のM2BPGi検査はカットオフインデックス(C. O. I.)による半定量検査ですが、この度、同一試薬製造販売元より、M2BPGi濃度を定量的に測定する試薬が発売されたため、新規項目として受託を開始いたします。

【相関図】



BML検討資料

【参考文献】 Uojima H. et al. :J Gastroenterol 58, 1252-1260, 2023